

需要家シミュレータ

最近家庭で使用される電気器具は、数や種類が多く、したがって、その故障内容も同様に多様化してきている。

それらの器具が不調で、需要家が点検を電力会社に依頼してきた時、速かに対応し、担当者が点検し、更に修理を行うためには、多機能化した最近の器具に習熟している必要がある。その訓練のための「需要家シミュレータ」は、すべて実器に近い機能を具備した装置によって構成され、担当者が点検時に使用する測定器を用いていろいろなケースの不具合を効果的に、かつ、迅速に探査出来るよう、種々のトラブルを任意に設定し得る構造となっている。

特長

- ① 本装置では、訓練効果を高めるため、電力会社において日常使われている実際の測定器を使用してトラブル探査ができるよう、パネル面に電圧、電流、抵抗等の測定用チェック端子をそれぞれ設けている。またWHメータ、深夜電力用タイムスイッチ、ホーム分電盤等は実器を使用し、家電器具については、カラーイラストにて表示している。
- ② 表示盤の裏面に設けてある設定パネルにより、下記の模擬トラブルを設定することができる。

- ・引込口配線の断線によるトラブル。
- ・第二種接地線の断線及び接地抵抗値の増加によるトラブル。
- ・配線器具不良等による漏電トラブル。
- ・配線器具不良等による短路トラブル。
- ・屋内配線の電圧降下によるトラブル。
- ・過負荷トラブル。

- ③ 設定パネルで短路トラブルを設定すると、CTの変流比が自動的に切替えられ、CT 1次側の負荷電流を増加させることなくCT 2次側に短路電流が流れ、ブレーカをトリップさせる。
- ④ WHメータ及びブレーカに、CTを介して虚負荷電流を流すことにより、実電力を消費しているのと同様な動作をさせる。
- ⑤ マイコン設定機能付温水器の模擬には、実器と同じ設定パネルを取付け、実物と同様の設定操作ができる。
- ⑥ サイリスタを使用した家電品については、電圧フリッカの条件が設定できる。

(坂 記)

